

2 助成を必要とする活動の内容

1) 要綱第3条に定める別表第2「助成対象活動」の確認

◇活動の種別 ※申請する活動の内容が含まれると考える区分に○を記入	
○	① 日常の暮らしの中での支え合いに関する活動 例) 地域互助組織による困りごと支援 など
○	② 居場所をはじめとする多様な場づくりに関する活動 例) 子ども食堂等の地域食堂の運営、地域サロンや世代間交流の拠点の運営 など
	③ 身近な地域での見守り等に関する活動 例) 障がいがある方や引きこもりの方等に地域の活動への参加を促す取り組み、独居世帯等に対する配食活動 など
	④ 上記①～③には含まれないが、要綱第2条の目的を達成すると考える活動

2) 活動の内容

活動名	〇〇地区有償互助活動による地域食堂の運営
◇実施している活動の概要 ※対象者（受け手）の属性・人数、展開する地域の範囲や実施内容等を具体的に記入 〇〇地区は人口200名で80世帯。高齢化により買い物や草刈りなどがしづらくなる住民が増えてきたため、3年前に地区の中での助け合いによりこれらの困りごとに対応する仕組みを立ち上げた。 対象者は地区内に住む高齢者とし、「お願い会員」として会員登録をしている。現在の会員数は約40名。また、地区内で助け合いの担い手は「任せて会員」として会員登録を行っている。こちらは会員数15名。 お願い会員の依頼に基づき、互助の会の幹事がお任せ会員との調整を行い、互助活動を行っている。概ね週に2回程度の活動になっている。	

◇計画している拡充の内容	
・拡充を計画するに至った経緯や動機 ※必ず記入 互助活動を行っている中で、地区内にはひとり親家庭などの子育て世代で、暮らしの困りごとを抱える方がいることが分かった。また、一人暮らしの高齢者から、一人で食事をするのは寂しい、地域の人と一緒に食べる機会がないか、などの声を聞くようになった。 これらの声を受け、地域の方が気軽に集まって食事や交流ができる、地域食堂の開設を計画するに至った。	

・活動の対象（受け手）となる住民等の属性 ※該当する場合のみ記入	
（現在） 地区内の高齢者	（拡充後） 地区内の高齢者と子ども
・活動の頻度（回数等） ※該当する場合のみ記入	
（現在） 概ね週に2回程度	（拡充後） 互助活動に加え、月に1回程度、地域食堂の開設を計画。
・活動の内容や質 ※該当する場合のみ記入	
（現在） 高齢者の暮らしの困りごとの助け合い	（拡充後） 左記に加え、地域食堂を開設する。
・上記以外の内容 ※該当する場合のみ記入	
（現在）	（拡充後）

3) 助成期間終了後の展望

①概ね5年後に実現したい地域の姿	
<ul style="list-style-type: none"> ・地区内の住民がお互いを知り合い、日常生活のちょっとした困りごとを気軽に相談ができる雰囲気をつくる。 ・地区内の子どもを地域全体で育てる意識を持ち、子育て世代の住民を孤独にさせない環境をつくる。 	
②①を実現するための具体的な目標と実現に向けた取り組み内容	
2022年度末時点 (1年後)	<目標> ・地域食堂を毎月開催する。参加者は約20名程度を目標とする。
	<実現に向けた取り組み内容> ・近隣の小学校の協力を得て、地域食堂の開設について周知し、参加者を募る。
2024年度末時点 (3年後)	<目標> ・地域食堂に加えて、地域の子どもとその保護者、また地域の高齢者などが交流するイベント等を実施し、互いの顔が見える関係をつくる。
	<実現に向けた取り組み内容> ・回覧板や地域のイベントなどで、団体の活動内容を周知し、地区住民への理解を広げる。

<p>③①を踏まえた、 今後5年間の活動継続に向けた課題とその解決の方向性 (あれば記入)</p>	<p><課題></p> <ul style="list-style-type: none"> ・互助活動の担い手が高齢化しつつあり、活動の継続が難しくなること。
	<p><解決の方向性></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域食堂の運営により、これまで互助活動にあまり関わりがなかった子育て世代へ、活動への理解を広げることができ、活動の担い手確保にもつなげることができる。